

土木工事監督規程（平成元年十月二日訓令第十二号）

土木建築局
各建設事務所
広島港湾振興事務所

土木工事監督規程を次のように定める。

土木工事監督規程

（趣旨）

第一条 知事が行う土木に関する工事のうち土木建築局が所掌するもの（以下「工事」という。）の監督（以下「監督」という。）については、別に定めがあるものを除くほか、この規程の定めるところによる。

（監督員の責務）

第二条 建設工事執行規則（平成八年広島県規則第三十九号）第十九条第一項に規定する監督員（以下「監督員」という。）は、工事が公共の福祉の向上に寄与することを認識し、監督に当たっては公正を旨とし、厳正及び的確にその職務を行うよう努めるものとする。

（監督業務の分類）

第三条 監督業務は、総括業務、主任業務及び一般業務に分類するものとし、その業務内容は、次のとおりとする。

- 一 総括業務 監督業務に関する総括並びに主任業務及び一般業務を担当する監督員の指揮監督
- 二 主任業務 監督業務のうち、現場に関する総括及び一般業務を担当する監督員の指揮監督
- 三 一般業務 監督業務のうち、総括業務及び主任業務以外の業務

（監督員の担当業務等）

第四条 監督員は、総括監督員、主任監督員及び一般監督員とし、それぞれ前条に規定する総括業務、主任業務及び一般業務を担当する。

（監督体制及び監督員の指定）

第五条 監督は、総括監督員、主任監督員及び一般監督員が行う。

2 前項の監督員は、工事の請負契約ごとにそれぞれ指定するものとする。

（指定基準）

第六条 監督員には、次に掲げる職員を指定するものとする。

- 一 総括監督員 工事を担当する課長又はこれに相当する職以上の職にある職員
- 二 主任監督員 工事を担当する係長又はこれに相当する職以上の職にある職員
- 三 一般監督員 工事を担当する技師以上の職にある職員

2 土木建築局長は、必要があると認めるときは、前項第三号の規定にかかわらず、その命じる職員を一般監督員として指定することができる。

（監督の方法）

第七条 監督は、すべて契約書、設計図書（図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）と照合して行うものとする。

（工事記録等）

第八条 監督員は、当該工事の受注者から提出された書類、工事打合せ簿及び図面並びに検査、試験等の結果について、その処理経緯を明らかにするものとする。

附 則

1 この訓令は、公布の日から施行する。

2 この訓令の施行の日前に契約を締結した工事で、請負代金額が五千万円未満のものについては、この訓令の規定は適用しない。

附 則（平成八年六月一一日訓令第七号）

この訓令は、平成八年七月一日から施行する。

附 則（平成一二年四月一日訓令第七号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成一三年四月一日訓令第七号）抄

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成一四年四月一日訓令第三号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成一八年四月一日訓令第五号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二〇年四月一日訓令第五号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二一年四月一日訓令第三号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二三年四月一日訓令第九号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二四年四月一日訓令第六号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二五年三月一日訓令第一号）

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成二七年四月一日訓令第四号）

この訓令は、公布の日から施行する。